

第3回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 ワークショップ 概要書

ワークショップ名	第3回 臨床研究デザイン道場
開催の目的	<p>開催の目的</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床研究の本質を理解し 「症例報告から一步前へ」 出てみたくなる！ 2. 臨床研究デザイン法を継続的に学習する必要性がわかり、motivation が湧く 3. 抄録にありがちな問題点とその改善法を理解する 4. 研究支援委員会による研究助成制度について理解する 5. 研究助成を受けるために、優れた計画書を作成できるようになる！
対象	<p> ■ 診療所医師 ■ 病院勤務医 ■ 初期研修医 ■ 後期研修医 ■ 歯科医師 ■ 薬剤師 ■ 看護師 ■ 学生 ■ プライマリ・ケアに関する研究者 ■ その他 （プライマリ・ケアに関わる全ての医療者） </p>
定員	定員： 120名
講師名	<p> 司会 渡部一宏（昭和薬科大学） 講師 福原 俊一（京都大学） 教育協力 野口 善令（名古屋第二日赤病院） 杉岡 隆（佐賀大学） 福森 則男 福間真悟（京都大学） 竹島太郎（自治医科大学） 研究支援委員長 大野每子（唐津市民病院きたはた） </p>
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「臨床研究は、結局統計解析なので苦手」と誤解されていませんか？良いリサーチ・クエスチョンを考えることは、臨床家のあなた以外ではできません。さあやってみましょう！ ・ でも、その前に、分析的な研究の本質を理解し、基本的な「お作法」を身につける必要があります。データをとる前のデザインこそが重要です。症例報告から一步前へ！ ・ このWSは、臨床研究デザインに関するミニレクチャーと、学会抄録を題材とした参加型学習で構成されます。事前事後にクイズやWS評価をお願いします。研究助成制度の説明もします。 ・ 研究助成に提出する優れた計画書を書けるようになりましょう ・ 事前学習教材（推奨） 「リサーチ・クエスチョンの作り方」福原俊一著 健康医療評価研究機構 (http://www.i-hope.jp/より入手可)